# 「父の目線」

# ~あなたはどこを見ていますか~ 箴言 4:1~8、箴言 3:1~12

### 今日は父の日です。

今日は父の日です。
本来、最初の聖書の時代には、子どもたちは父親を通して神様を学んで行ったのですが、今はそれが失われています。何故、盛都の念がなくなり尊敬が薄れたのでしょうか。それは人が神様のことを見ることが出来なくなったからです。英語というものは、I (私が) という使い方がとでも多く、会話をよく見ると非常医いうものは、I (私が) という使い方がとでも多く、会話をよく見ると非常に答頼的です。これはいつも何かの目線を感じているからです。日本人の会話日本はそれだけ心で物事を感じ、相手が困っている姿・悩む姿を感じる国民なので、相手のことはよく分かりますが、客観的に自分を見ることが出来なくなりました。これが尊敬を失った理由です。だから私たちは、自らが見られているということを感じなければいけません。神様はあなたを創造し、母の胎にいる時からあなたを形作り、目的を与え、どのように生きるか、そしてあなたに何をして欲しいか、あなたにしか出来ない唯一の大切な責任を任せました。けれど、私たちはそれを任命した人を認めていないのです。

私のことばを心に留め、私の命令を守って、生きよ」(箴言 4:1~8)

# 生きよ」(箴言4:1~8)

| 私のことばを心に留め、私の命令を守って、生きよ」(箴言 4:1~8) | 何故ダビデは、息子ソロモンにこのようなことが言えたのでしょうか。それはダビデが言った「私はいつも、私の前に主を置いた」(詩篇 16:8) これにつきませせ、いこいの水のほとりに伴かれます」(詩篇 23:1,2) 彼はいつも感じていたのでき、いこいの水のほとりに伴かれます」(詩篇 23:1,2) 彼はいつも感じていたのでき、どう生きるべきか、どう歩むべきなのか、自分が感情的になった時・失敗し様しいます。とうないといけないか。ダビデは協奏ぎではなく、見ているのです。おです。それならないといけないから、メジスとんの様になりたいと思うの。それなら父は完璧でないといけないのかというとそんなります。それてろがそ親になりたいと思うかけらにお父さんの様になましたいと思うのと、お父さんの様におますというと、それな自人の正くと、それならとは完璧でないけないのかというと、お父さんの様にないます。それであが突然になりますが、父はある日突然ないらなからです。とれたるがそ親になんもよく分からずあなたのお父さんになったのです。「自分の子がいれを下さいしと思う方法でわが子を自てるわけです。」「自分の子がいれを下さい自分の正しいと思う方法でわが子をっても、出して、あなたの創造者を覚えました。自分の子どれてはまいれがを与えることを知らしているのです。」自分のようとにだれが石を与えることとの若のなかたは、悪い(マタゼスよい)自分の子どれては良い物を与えることをの若の中です。「自か見ずれれない」と書かれています。そして「世界の「不思議は何だと思いますか?)と皆われています。そして、本地様のはけれていること、完まがものがとないとはり、インスとと、なりまること、まれが年観、神様に感謝し行の教がとことがなるとはり、インスとと、とこれが年観、神様に感謝している姿をとしてある」と、これが不思議だとです。これがでそのかられることに対しているの様別だと思いまともです。そのより、大がでそのより、オがよりといのが発力に見せいまをとしました。と父のよれにはいるの様別を思いまます。これなの存むを見いたいなるよることがなくなっていきまっ。「父がかわいがる子をしかるようにほど、しかの発声した言葉、態度や行動、それはないのできと見ることなく、人に着すく生を減んでしまうのです。「地様が作ったな当のこまに表しいの発声した言葉、態度や行動、それをあなたの首に結び、あなたの心にもとは、この御書葉です。「恵みとまことを捨ててはならない。それをあなたの首に続び、あなたの心にもとしたし、よりたちはようない。それをあなたの首に続び、あなたの心にもととを捨ててはならない。それをあなたの首に続び、あなたの心の

## この御言葉です

「恵みとまことを捨ててはならない。それをあなたの首に結び、あなたの心の板に書きしるせ。」(箴言 3:3) 恵みとはしてもらったことです。に種は蒔きますが、大陽が光り輝き大地が肥えて植物にエネルギーを与えるという中で音がと音がが合わさって実が結ばれる、これが恵みです。自分を含まるという中で出が出かが合わさって実が結ばれる、これが恵みで向にしたと感謝することが出することが出りらか作るものではないのです。後音ではないのです。後日の女を分よりもちょっといい人を見つけると比較をすることが出りらいない人は、自分が月まかれています。しかし、私たちは人格に関節があると思うので、人に指摘されるとしたがけないかりかりません。しみ格に即がされると思うで、人に指摘されると販がたって認めることが出来ないのです。神様があるたあなたの人格の素晴らしさを伝え、あなたの服についたすなのでいったがられると思うので、人に指摘されると皮がたたけなのいた。もか出来ないのです。後言まとを感情。と肉体の間についた間違ったしみを指摘されるだけなのでないも神様があなたあなたの人格の素晴らしさを伝え、あなたの服についたすなのでないも神様を認めて神様ならどうすることを主に委ねて、自分の皆りに頼られて、尊ばれる方です。それを私ともうことを感じなさい、教えがあるなたがたがあるなたがなっまというようまましたのものにとカンドを選ぶかる名というような方法論はないのです。それを私とでしまされる方です。それを私たでしまされば、まなたがたが方って身となら表があるなななが、ストを選ぶか、それたけのことなのです。私たちは人のではあります。そのようともが表があるとが変れるよります。「愛はなどのできなさい」と神様が私たちにあります。「今まなたが人でもよりもかるとです」(マタイ 5:8) アメリカ連甲の議員によるなたが残性を払わなければ実は残らないのです。「もとは対する偏値観が変わる。3、物事の見方が変であったがエースーローガンれる。1(世様 20:35)とあります。1、金銭に対する高やと高が出ていよりに出き自分が捨てられ、犯罪に手を染め、麻薬を売って生まできたそんなどが強している。2、追ばながよりと同様が、本に出き自分が捨てられ、犯罪に手を染め、麻薬を売ってままなたの人格が、神様に出き自分が捨てられ、犯罪に手を染め、麻薬を売ってまっまなたの人格が、神様に出きさんがなっなり、水に入っても水がなくなれば塩に戻り、溶けて相手というのはこうでありなさいと神様は言われています。それはあなたが塩のよう様をなるのと融合しますが、塩であることは変わらないのです。クリスチャンは塩は 「恵みとまことを捨ててはならない。それをあなたの首に結び、あなたの心の

塩でなければならないと頭で思い、融合することが出来なくなっています。相手が間違っていると判断すると、相手に塩を蒔いてしまいます。塩を見てください。ちょっとスープの中に入れたら、さっきまで何も味もなかったものに美味しさが入ります。今まで何もよくなかった環境が、あなたが関わるとよくなるのです、最は立ちすぎると悪影響をもたらしますが、塩は良い状態であれば人々にとって命の源となるのです。だから私たちはこの聖書の教えに基づいて自分の足で立ち、自分で判断するようにならなければいけません。それは何の目的か理解する時かとかるのです。ためかとれるのです。

### ■ ①父の従う姿

父の従う姿で歩まなければなりません。従うのは大変です。「右の頬を打つよ

父の従う姿で歩まなければなりません。従うのは大変です。「右の頬を打つような者には、左の頬も向けなさい。下着を取ろうとする者には、上着もやりなさい」(マタイ5:39、40)「水 1 杯でも差し出すなら」(マタイ10:42)「『はい』は『はい。(1コリント 13:5)と書いてあります。行うのは大変です。しかし、その大変なことを戦う姿が子どもたちに変化を与えるのです。男性だけでなく女性も、神あなたに関わる多くの人々に、言葉で人を変えようとしないでください。教えで人を変えることは出来ないからです。「ことばや口先だけで愛することをせずくたさい。あなたは証者になれと言われっていることを変えることは出来ないからです。「ことはや口先だけで愛するとをせずくしまとを変えとう」と「13・パネ 3:18)と書いてあるように、介有実で愛を置かなければならないのです。本当はこうするべきだと分かっていることを、他のものはさせないようにしてきます。愛に基礎を置いて、そして愛の深さいと真を自めのはさせないようにしてきます。愛に基礎を置いて、そして愛の深い、3:17~19)ですから、あなたは神様から語られた言葉に目を向け、出来事が生じた時、報わっていきましょう。神様はあなたに、目に見えてることではなく裏側を教えようとしています。

②仕事を楽しています。

②仕事を楽しか~あなたの目的~

仕事とは何が仕事なのでしょう場。なほでも仕事であり、寝る時も仕事であり、教会に来るのも仕事なのかというと、ルールではないのです。あなたが優先しなければならないことを、その時その時やらなければならないのです。だからここれば全でのクリスチャンがやっていることです。お父さんだけが仕事をしている。これば全ののクリスチャンがやっていることです。お父さんだけが仕事をしているとままなからではないのです。これではありません。「中に発えよ。全です。社会は、あなたが手の場所にいるのは、あなたがその場所にいるのは、あなたがその場所にいるのは、あなたがその場所にいるのは、あなたがその場所にいるのは、あなたがその場所にいるのは、あなたがその場所にいるのは、あなたがその場所にいるのは、あなたがその場所にいるのは、あなたがその場所にいるのは、あなたがその場所に必要ない。「良い仕事とは、神の計画をしようとは、あなたに任せられてそともいうことです。「良い仕事」は、神の計画をしようとは、あなたに任せるれてそどもがその目的に育つように、あなたかりにとです。とくでさい。家庭で神の計画をしるとは、あなたに任せられてそどもがその目的に育つように、あなたが明の計画をしまくとは、あなたに任せられてそどもがその目的に育つように、あなたたりにとです。とれたまに呼吸に値する次を歩くでいかなければなりません。

#### ■(3)家族の主に~尊敬される父~

私たちは尊敬に値する姿を歩んでいかなければなりません。尊敬される父にならなければいけません。尊敬出来る人というのは、自らをちゃんと分かっている人です。間違ったことに気付けるのは、分かっているからです。間違ったことを示してくれる人、すなわち神の目線を感じてください。ある女の子が、よんが帰ってくるまでずっと玄関で待っていました。夜11時を回っていました。お父さんが帰ってくるまでずっと玄関で待っていました。夜11時を回っていました。お父さんが帰ってくると、すご〈喜へで「お父さん、聞きたいことがあるの」と言い、「お父さんが 日間間 (時緒) っていくら?」と問いたのです。疲れて帰ない「きなさんは、わが子がお金のことを言ったので「お前には関係ない! なんでそんなこと間くんだ!」と言いました。すると女の子は「ちょっと聞きたくい・・・」と思いな寝味に追いやりました。お父さんは度が立って、も多う11時だから違していたなくさんなこと間くんだ!」と言いました。「起書をよっとりり過ごしていたな父さんは気になって娘のところへ行きました。「起書をくり過ごしていたなは父さんは気になって娘のところへ行きました。「起書する?」と聞くと、20ドルとさんは気になって娘のところへ行きました。「起書する?」と問くと、20ドルときんは気になって娘のところへ行きました。「かからと関いてとない」を分かっておげないと、上からかせて、正と娘に入するといるかを分かっておげないと、上からの想いです。子どもがお父さんに何を求めているかを分かっておげないと、上からとかせて、まりになってしまいまから、と言ったそうするとななに関わるななたでもはあなたを尊敬出来ません。本当の想いが分かってあげないと、上から人生を要える人たちが出てきます。あなたの愛を受けて、正しい道に戻れる人たちがあなたを通して起こされるのです。 私たちは尊敬に値する姿を歩んでいかなければなりません。尊敬される父に